

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	幹らんど		
○保護者評価実施期間	2026年1月8日		～ 2026年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21人	(回答者数) 18人
○従業者評価実施期間	2026年1月8日		～ 2026年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	23人	(回答者数) 22人
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月8日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・児童一人一人の特性や成長発達段階に応じた支援を行っている。戸外活動を積極的に取り入れ、自然や環境との関りを通して、五感を刺激する多様な経験を提供している。医療的ケア児にも柔軟に対応できている。	・児童一人一人の特性や体調、興味関心に合わせて活動内容や関わり方を柔軟に対応している。戸外活動を積極的に取り入れることで季節や環境の変化を感じられるように工夫しながら、視覚・聴覚・触覚など五感を意識した支援を行っている。	・支援後の振り返りをおこない、児童の反応を次の支援に活かす ・戸外活用や五感を活かした活動のバリエーションを増やし、児童が安心して主体的に参加できる環境づくりに取り組む
2	・保護者と日常的に相談しやすい関係性を築いており、家庭での様子や悩みを共有しながら支援につなげている。また、保護者が気づきにくい児童の変化や強みに対しても専門的な視点から助演を行い、家庭と連携した支援を実施している。	・日々の送迎時や連絡帳等を通じて保護者が気軽に相談できる雰囲気づくりを心がけている。児童の様子は小さな変化も具体的に伝え保護者が気づいていない強みや成長については専門的な視点からわかりやすく助言している。また、保護者の思いや考えを丁寧に聞き取りながら共有している。	・保護者との継続的な情報共有を行い、家庭での関わりにつなげやすい助言を行うとともに、職員間で対応を共有し支援の質の工場を目指す
3	・多職種がそれぞれの目線で関り、遊びを通して成長発達支援を行っている。	・医療的ケア児も多く、看護師だけでなく保育士、セラピスト、歯科衛生士、公認心理師等、それぞれの特性を活かし、児の個性を活かした支援をおこなっている。	・支援後の振り返りをおこない、児童の反応を次の支援に活かす

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・避難訓練を実施し、その内容について保護者へ周知しているが、伝え方や情報共有の方法が十分とは言えず、保護者に内容が十分に理解されていない状況がある。	・周知方法が限られており(連絡帳やSNS)、避難訓練の目的や内容が具体的に伝えきれていない可能性がある。 ・登園時間や登園日時にもばらつきがあり、毎回全員が訓練をうけることができてない。	・避難訓練の目的や流れを説明すると共に、児童の様子についてわかりやすく保護者へ周知する。家庭でも確認しやすい形で情報を共有することで理解を深めてもらう
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 幹らんど

公表日 2026年 2月 10日

利用児童数 2026年 2月 8日 21人 回収数 18名

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	16	2			利用児が多い日は少し狭く感じる時があります。	利用時が多い時間帯には活動スペースが狭く感じられる場合があるため、活動内容や配置を工夫し、スペースの有効活用に努めている。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	18					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	16	1	1			利用状況に応じて環境設定を見直し、より分かりやすい構造化と特性に応じた配慮を強化していく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	18					
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	18					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	18					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	18				子どもの理解が十分である	
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	18					
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	18					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	18					
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	12	2	1	3	お祭り等で交流があると思います。まだ通所したばかりでわかりません	秋祭り等で地域のこどもたちやスタッフの子どもたちと交流している。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	18					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	18				しっかり説明してくれた。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	17			1	交流の場があると説明をうけた。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	18				週1回の利用であるが、子どもの様子を細かく聞いてくれる。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	18				親が気づかない点についても助言や発達をのぼす支援がされています。いつも相談させてもらっている。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	18					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	16	1		1	親の交流会やイベント等が開催されています。交流の機会があると説明をうけた。	
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	18						

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	18				連絡帳と直接お話してくれています。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	18					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	17	1				個人情報取り扱いについては契約書にも記載し、また職員間でも取り扱いについて確認し、意識統一を図っている。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	16			2		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11	1		6	通所し始めたばかりでわからない。	定期的に避難訓練等実施し、連絡帳に記載してお伝えしているが、周知されていない部分も多いため、理解を深める機会を設ける。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15	1		2		契約時に説明は行っているが、より理解が深まるよう継続的な情報発信に努める
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17	1				
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	18					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	17			1	まだわかりませんが楽しいと思います。楽しんで通所している。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	18				いつも支援していただき満足です。	

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		幹らんど				公表日	2026年 2月 10日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	21	1	・室内だけでなく屋外でも十分に遊べる環境になっている。 ・利用児が多いとスタッフも多くなり、狭く感じる日もあるが、戸外活動を取り入れたり、食事時間をずらしたりなど工夫して過ごしている。	・空間づくりを工夫して、遊ぶスペースと生活スペースを分けても良いと思う。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	22		・配置数は適切であり、安心して過ごさせている。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	22		・職員間でよく話し合っている。 ・フラットなので居座りやずり這い、ハイハイなど、子どもが自分で行きたいという気持ちを叶えられるようになっている。 ・スロープや浴室リフトなど設置されている。 ・自宅空間を意識しているように思う。 ・バリアフリー化されていない部分に対しても安全に配慮されている。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	22		・生活空間は清潔である。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	22		・子ども気持ちを尊重した使用ができています。 (子どもが落ち着ける場所の確保等) ・屋外やカフェスペースなど気分転換が図れる環境になっている。 ・着替え、排泄、医療的ケアを受ける際は、囲を使用している。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	22		・職員が集まってカンファレンスの時間を作っている。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	22		・日々職員間で話し合われている。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	20	2	・事業所全体でも週1回のカンファレンスで情報共有している。 ・日々職員間で話し合われている。 ・気になることは職員間ですぐに共有している。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	13	4 未記入5	・まだ監査を受けていない。 ・外部の見学者の方々とは意見交換し、業務改善に繋げている。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	22					
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	21	未記入1	・話し合い意見の偏りに注意している。 ・毎月、保育内容を保護者に連絡ツールや室内掲示でお知らせしている。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	22		・定期的に保護者との面談を行い、ニーズを把握し、支援計画につなげている。 ・子どもの気持ちを尊重し、常日頃から寄り添い、保護者ともコミュニケーションをとっている。 ・話し合いの場にいる職員は職種問わず参加し、評価反省計画作成に携わっている。			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	22		・職員全体で共有し、一人一人の意見を聞きながら話し合いを重ねている。 ・検討には、児発管、看護師、保育士、セラピストが参加し、様々な意見を出し合っている。			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	20	1 未記入1	・職員一人一人意識している。 ・保育士からも目標や計画について、随時伝えてくれている。			

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	19	1 未記入2	・アセスメントツールは使用している。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	21	未記入1		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	19	2 未記入1	・日々職員間で話し合われている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	21	未記入1	・いろいろな計画を立ててくれている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	20	1 未記入1	・一日の終わりに職員同士で振り返りを行い、反省点も踏まえて次につなげている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	20	1 未記入1		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	21	未記入1	・振り返りの時間を作り、共有している。 ・毎日、適時、必要時に行っている。 ・終了後に保育の振り返りを行い、スタッフ間で気づいたことを共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	20	1 未記入1	・反省や振り返りを活かしている。 ・共有内容は、申し送りノートに記入している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	21	未記入1		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	17	2 未記入3		・会議開催時は出席している
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	19	1 未記入2	・事業所としては、よく発信している。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	20	1 未記入1	・併行利用は支援しており、子ども達も楽しく通所している。	・行政を通じて連絡している。平行利用前に情報共有もしている
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	21	未記入1		
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	8	5 未記入9		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	12	5 未記入5		・併用利用している子どももいるが、交流できていないこともある。 ・たまたま出会う程度。企画としては実施していない。
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	19	未記入3	・登降園時に様子を伝え合っている。 ・連絡帳だけでなく登降園時に直接保護者と話す時間を取っている		

	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	18	未記入4		
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	18	未記入4		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	18	未記入4		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	18	未記入4		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	19	未記入3	・お迎えの時間に積極的に家族の話聞いています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	19	未記入3	・事業所のイベント開催時に親の会も開催されている。 ・今年度も何度も保護者交流会を行い、参加してもらった。情報共有や思いを受けとめ合える場になり、良い時間になっている。	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	19	未記入3		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	19	未記入3	・ホームページやインスタグラムを公開している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	19	未記入3	・データの扱い、写真の取り扱いやSNSなど十分留意している。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	19	未記入3		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	18	未記入4	・事業所の取り組みとして地域交流の機会を設けている。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	19	未記入3		・全てのマニュアルについて、改訂された場合はスタッフに周知していきたい。
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	18	1 未記入3	・定期的に避難方法を職員間で共有するとともに訓練を行い、反省、見直しを随時行っている。	・BCPを周知する ・訓練の頻度はもう少し多くても良いと感じる。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	18	未記入4	・ダブルチェックを実施している。	勤務者は情報収集する。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	17	未記入5	・食事提供はしていないが、アレルギーについては家族から聴取し、記録に残し把握している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	19	未記入3		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	18	未記入4		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	22		・事業所内で週1回のカンファレンスで共有している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	22			
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	20	1 未記入1			

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	幹らんど		
○保護者評価実施期間	2026年1月8日		～ 2026年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2人	(回答者数) 2人
○従業者評価実施期間	2026年1月8日		～ 2026年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	18人	(回答者数) 16人
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月8日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・児童一人一人の特性や成長発達段階に応じた支援を行っている。戸外活動を積極的に取り入れ、自然や環境との関りを通して、五感を刺激する多様な経験を提供している。医療的ケア児にも柔軟に対応できている。	・児童一人一人の特性や体調、興味関心に合わせて活動内容や関わり方を柔軟に腸性している。戸外活動を積極的に取り入れることで季節や環境の変化を感じられるように工夫しながら、視覚・聴覚・触覚など五感を意識した支援を行っている。	・支援後の振り返りをおこない、児童の反応を次の支援に活かす ・戸外活用や五感を活かした活動のバリエーションを増やし、児童が安心して主体的に参加できる環境づくりに取り組む
2	・保護者と日常的に相談しやすい関係性を築いており、家庭での様子や悩みを共有しながら支援につなげている。また、保護者が気づきにくい児童の変化や強みに対しても専門的な視点から助演を行い、家庭と連携した支援を実施している。	・日々の送迎時や連絡帳等を通じて保護者が気軽に相談できる雰囲気づくりを心がけている。児童の様子は小さな変化も具体的に伝え保護者が気づいていない強みや成長については専門的な視点からわかりやすく助言している。また、保護者の思いや考えを丁寧に聞き取りながら共有している。	・保護者との継続的な情報共有を行い、家庭での関わりにつなげやすい助言を行うとともに、職員間で対応を共有し支援の質の向上を目指す
3	・多職種がそれぞれの目線で関り、遊びを通して成長発達支援を行っている。	・医療的ケア児も多く、看護師だけでなく保育士、セラピスト、歯科衛生士、公認心理師等、それぞれの特性を活かし、児の個性を活かした支援をおこなっている。	・支援後の振り返りをおこない、児童の反応を次の支援に活かす

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・地域の子どもたちや他事業所の放課後デイクラブとの交流機会がすくない。	・秋祭りや餅つき大会等イベント時に交流機会を設けているが、放課後デイ利用時の参加は少ない。	・無理のない範囲で交流の機会を検討し、利用時の兄弟やスタッフの子供たちとの交流機会を検討していく
2	・活動プログラムについて発達段階や個々の特性に応じた工夫を行っており、個別計画書にも記載しているが、保護者に十分伝わっておらず、活動内容が固定的に見えてしまう可能性がある。	・活動内容やねらいを保護者に伝える仕組み(連絡帳、説明の機会等)が十分に整っていなかった。	・活動のプログラムのねらいや工夫点を保護者にわかりやすく発信する。 ・定期的に職員間で活動内容の見直しや振り返りをおこない、共有する。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 絆らんど

公表日 2026年3月27日

利用児童数 2026年1月5日 名 回収数 2名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	2					
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	2					
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	2					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	2					
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	2					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	2					
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	2					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	2					
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	2					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	1				1	活動内容を固定化されないように工夫し、保護者にもわかるように発信する。
保 護 者 へ の 説 明 等	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	1				1	秋祭りや餅つき大会等イベント時に、地域の子どもたちと交流する機会は設けている。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	2					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	2					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2					
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	2					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	1				1	助言や情報共有を行っているが、支援の一環であることが伝わるよう、改めて丁寧に周知していく。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	2					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2					
	19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	2					

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	2				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	2				
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	2				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	2				
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	2				
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	2				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	2				
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	2				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	2				
	29	事業所の支援に満足していますか。	2				

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	幹らんど	公表日				
		2026年 3月 27日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	15	1	・児童発達利用児が多い時は狭く感じるが、バギーではなく床の上でスペースを確保して過ごしている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	16		・看護師、保育士の配置が十分であり、安心して保育やケアができています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	16		・スロープや浴室のリフトなど設置されている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	16			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	16			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	16		・一日の終わりに毎日振り返りが出来ている。 ・カンファレンスや終了後の振り返りを多職種で行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	15	未記入 1		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	15	1	・一日の終わりに毎日振り返りが出来ている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	11	3 未記入 2	・まだ監査を受けていない。 ・外部の見学者の方々とは意見交換し、業務改善に繋げている。	評価結果等を業務改善につなげていく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	16			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	15	1	・職員間で話し合いの機会を多く持っている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	15	1	・職員間で話し合いはされている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	16		・児発管、看護師、保育士、セラピストなどかかわっているスタッフで検討している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	15	1		・計画が共有されていないこともある。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	13	1 未記入 2		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	15	未記入 1		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	16			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	16			

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	16		・個々の利用児に応じた支援ができています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	15	1		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	16		・支援終了後に保育の振り返りを行い、スタッフ間で気付いたことを共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	16		・共有したことをメモし、申し送りノートに記入している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	15	未記入1		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	12	未記入4		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	16		・子どもの気持ちを汲み取ろうとする意識を職員全体に感じる。 ・ミーティングで話し合い、児に合わせた支援方法を統一して行っている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	15	1		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	15	未記入1		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	16			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	14	1 未記入1	・児童発達支援からの利用で情報を引き継いでいる。	・保育園や幼稚園側からの情報が少ない感じがする。 →双方互いに納得できる連携となるよう今後も取り組んでいきたい。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	9	2 未記入5	・対象児がいない。	対象児が該当したときには、積極的に情報提供を実施していきたい。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	2 未記入7	・該当者なし	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	5 未記入5		・交流の機会が少ない
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	8	2 未記入6	・理事が参加されている。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	15	未記入1	・自宅へ送迎時、丁寧に伝えている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	15	未記入1		
関	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	15	未記入1		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	15	未記入1		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	15	未記入1		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	15	未記入1	・送迎時に話を聞いている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	15	未記入1	・多くのイベントを担当者が責任をもって企画運営し、職員の協力体制も十分にある。 ・秋祭りなどで機会を設けている。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	15	未記入1		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	15	未記入1	・会報（年2回）、イベントのたびにインスタグラムで発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	15	未記入1		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	15	未記入1	・手話表を提示している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	15	未記入1		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	15	未記入1		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	14	1 未記入1		・BCPはまだ作成途中？
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	15	未記入1	・職員全体で行っている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	14	未記入2	・食事提供はしていないが、アレルギーについては家族から聴取し、記録に残し把握している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	15	未記入1		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	15	未記入1		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	15	未記入1		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	15	未記入1		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	13	1 未記入2			

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	幹らんど（保育所等訪問）		
○保護者評価実施期間	2026年1月8日		～ 2026年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2人	(回答者数) 2人
○従業者評価実施期間	2026年 1月 8日		～ 2026年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2人	(回答者数) 2人
○訪問先施設評価実施期間	2026年1月8日		～ 2026年1月 31日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	2施設	(回答数) 1施設
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 9日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門的な知識を活かし、児の特性や発達段階を踏まえた支援や助言を行っている。	保育所等の実際の生活場面に即した支援や助言を行っている。	専門的な支援内容を職員間で共有し、関係機関と連携を通して、訪問支援の質の向上と充実を図る。
2			
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	現時点では対象人数が少なく課題は少ない。	対象人数が少なく、事例や経験の蓄積が十分でない。	今後の利用拡大に備えて、支援事例の蓄積と体制整備が必要である。
2			
3			

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 絆らんど

公表日 2026年 3月 27日

利用児童数 2026年 2月 1日

回収数 2名

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	1			1		
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	2					
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	2					
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	2					
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思えますか。	2					
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	2					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	2					
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	2					
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	1				1	
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	2					
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	2					
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	2					
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	2					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	1				1	
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていますか。	2					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	1	1			・定期的ではないが、その都度支援してもらっている。	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	2					
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	2					
	19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	2					
20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	2						

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	2				
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	2				
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	1		1		
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	2				
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。			2		
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	1		1		
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	2				
	28	事業所の支援に満足していますか。	2				

公表 訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名	公表日	2026年 3月 27日		
幹らんど	利用児童数	2026 年 2月 1日	回収数	1施設

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	1			・車いすに乗っている時の押し方などの援助の仕方を教えてもらえたので、すぐに取り入れることができました。	
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	1				
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれますか。	1			・あまり質問することができなかったので、質問したいことを前もって考えておくべきだったと感じました。	
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	1				
5	事業所からの支援に満足していますか。	1			・5月に一度、訪問支援をしていただきましたが、もう少し連携を取ることができれば、本児の支援につながったのではないかと思います。	訪問支援後の報告や情報共有の機会を増やし、関係機関・保護者との連携をより密に図っていく。
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		幹らんど		公表日		2026年 3月 27日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
環境 制 ・ 整 運 備 営 ・	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	1	未記入1	・現行、教材等を使う支援はなく、環境調整が主である。	教員教材が必要な時は適切な教材を作成していく	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	2				
業務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	1	未記入1			
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	1	未記入1			
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	1	未記入1			
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		2	対象者が少なく、まだ第三者評価を依頼していない。		
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	2				
適 切 な 支 援 の 提 供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	2				
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	2				
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	1	未記入1			
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	1	未記入1			
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		未記入2	・使用する対象児がない。		
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	1	未記入1			
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	1	未記入1			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。		未記入2			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		未記入2			
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	1	未記入1			
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	1	未記入1			
19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	1	未記入1				

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	1	未記入 1		
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	1	未記入 1		
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	1	未記入 1		
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	2			
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	1	1		
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	2			
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		1 未記入 1		
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2			
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	2			
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	1	未記入 1		
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	1	未記入 1		
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	2			
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	未記入 1		
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	1	未記入 1		
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	1	1		・保育所等訪問に関しては、特に発信なし。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2			
36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	2				
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	1	未記入 1		
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	1	未記入 1		
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	1	未記入 1		
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2			

	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	1	未記入1		
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2			
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2			
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2			
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	2			
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	2			